

まだ見ぬ他者に思いをはせて

NPO法人コンシューマーズ京都
理事長

河野 直



年頭のごあいさつを申し上げます。

昨年は自然災害に多くみまわれた悲しい年でした。全国各地で発災した自然災害により、亡くなられた方のご冥福をお祈りしますとともに、被害に遭われたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。

特定非営利活動法人コンシューマーズ京都(京都消団連)は、2003年10月1日にNPO法人として京都府より認証され、「消費者権利の確立」「消費者保護」「環境の保全」のための活動を進めています。

また、コンシューマーズ京都の果たすべき役割を、①消費者のための「学びの場」の提供②くらしに役立つ情報提供③消費者の立場からの調査・研究④消費者の立場からの政策提言とその実現をめざす活動と整理し、実践的に追求しています。

消費者運動は、ときどきの課題に向き合い、多くの人々の願いを集め実現してきました。それは、弱き消費者を保護しなければならない問題や、ないがしろにされている消費者の権利を擁護する問題などでした。私たちはこれまでの取り組みの成果を共有し、今後も着実に前進していく決意です。

一方で、地球温暖化の問題や貧困、飢餓の

問題など、対立の構図を強調するだけでは解決が図りにくくなっている問題も増えていきます。無関心でいられたとしても無関係ではいられない時代になっています。食品ロスやプラスチックごみ問題など、私たち自身がどのように考え何ができるのかが鋭く問われています。

SDGs(持続可能な開発目標)やパリ協定から3年が過ぎましたが、国家間の様々な思惑が交錯し、いまだ先行き不透明な状況です。地球温暖化の影響によるものと言われる自然災害の発生を回避するためにも、私たち一人ひとりが強く関心を持ち、ともに実現に向けて声を上げていかなければなりません。

今年は10月に消費増税が予定されています。増税に伴うマイナスの影響は避けられません。また、世界に目を転じると、自国第一主義の台頭もそこかしこに見受けられます。時代の針が逆回転しているかのようです。世の中が他者を思いやる余裕をなくしつつあるように感じます。悲しいことです。まだ見ぬ他者を自分に置き換える勇気をもちたいと思います。

最後に、みなさまにとりまして本年が実り多い年でありますよう祈念いたします。